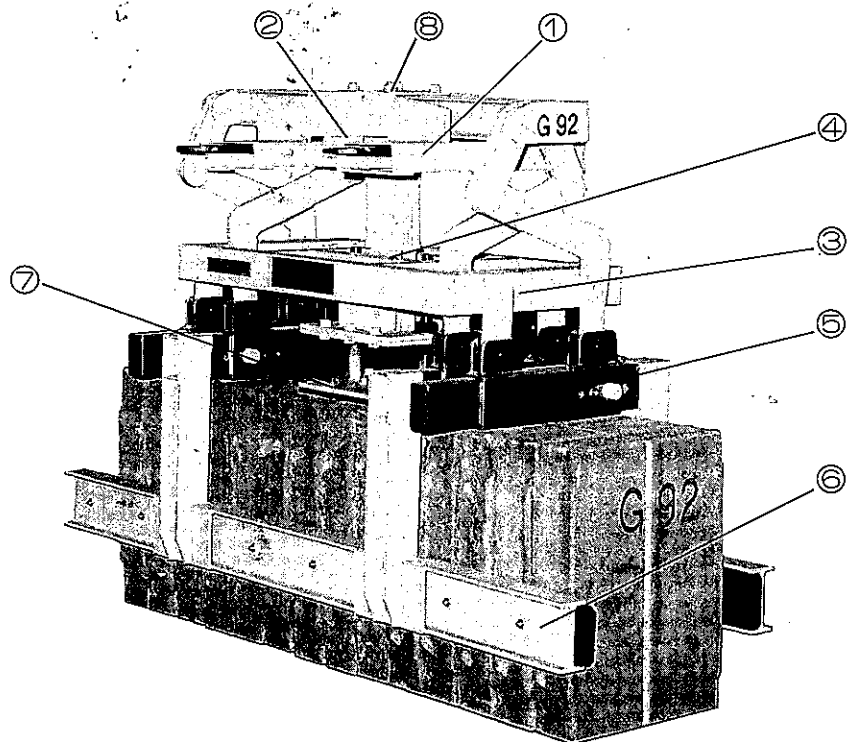


# G92型挟搬機

## 取扱説明書

### 構造

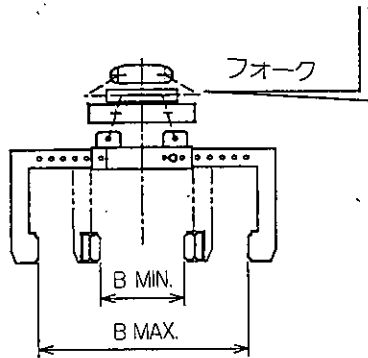
1. フォークさや
2. 自在接手
3. 主 機 構
4. ガ イ ド  
(摺り操作制御機構内蔵)
5. アタッチメント支持桁
6. アタッチメント
7. 開閉用ストッパー
8. 蓋 板  
クレーンにご使用の場合は  
8.の替りにアイ金具が組込まれます。



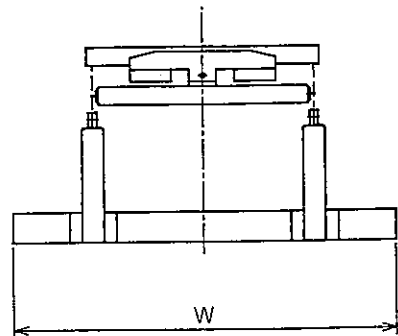
- フォークさやには鎖が付着していますので、フォークリフトからの脱落防止に御利用下さい。
- 自在接手は主機構とフォークさやの間であって、荷重がマストの傾きに関係なく、いつも垂直になる様に自動的に調節されますから、不整地走行も安全です。
- 摺り操作制御機構は開閉用ストッパーが被挟搬物に接触することにより、一回おきに挟搬機が開くか閉じるかを正確に制御しますから、運転者は常にフォークを上下するだけで、摺り又は離す操作が出来ます。
- アタッチメント支持桁には第5図で分るように多くの穴がありますので、アタッチメント固定ピンの差し替えてアタッチメントの間隔を自由に変更出来ます。

第2図

〈側面図〉



〈正面図〉



機	種	G-92-15
能	力	1.5 ton
	W	160.0 mm
B	MIN	30.0 mm
B	MAX	98.0 mm

使用最大荷重

B 300~800 1.5ton

B 800~980 1 ton

表-1

- 開閉用ストッパーはアタッチメントに物を挟む位置（掴み深さ）を物の上からどの位にするかを定めると共に、これが物に接触することにより掴み操作制御機構がアタッチメントの開閉を司ります。

### 操作方法

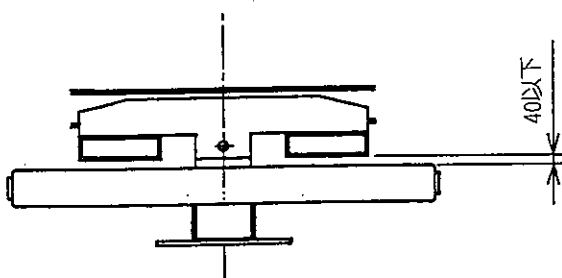
荷を解いて、先ずフォークリフト又はクレーンにてマジックハンドを吊って下さい。

その場合、次の何れかの状態になります。

㊶の状態（第3図）

マジックハンドが開いたままで  
ホークさや下部と主機構上部と  
の間が40%以下。

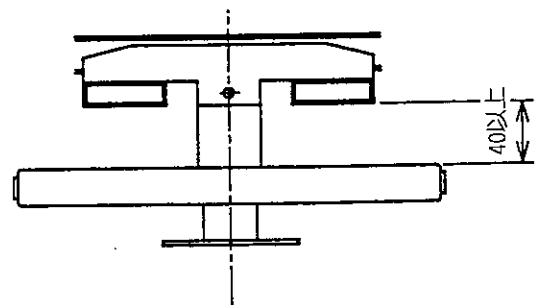
第3図



㊷の状態（第4図）

マジックハンドが閉じていてホークさや下部と主機構上部との間が40%以上。

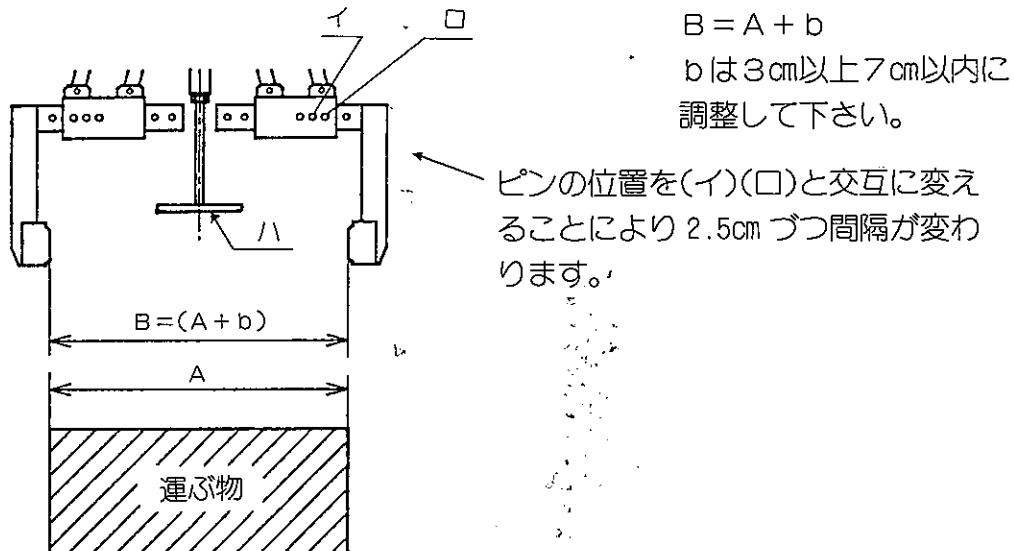
第4図



### ㊤の状態のとき

1. そのまま被挾搬物（運ぶ物）を掴むことができますから、Bの間隔を次のように調整して下さい。

第5図（側面）

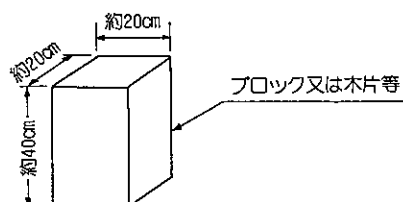


2. Bの間隔が決まりましたら、被挾搬物（運ぶ物）の上からマジックハンドを静かに下ろして、開閉用ストッパーを被挾搬物の上に乗せ、自然に止まるまで十分に下げきって下さい。
3. 静かにリフト又はクレーンを引き上げるとマジックハンドは被挾搬物（運ぶ物）を掴んでいますから、そのまま引き上げて移動して下さい。
4. 下ろすときは、そのまま静かに下げてマジックハンドを充分下げ、自然に止まるまで下げきってから再びリフト又はクレーンを引き上げればマジックハンドは開いたままで上ってきます。
5. 以下同様にくり返して下さい。

### ㊦の状態のとき

そのままでは被挾搬物（運ぶ物）を掴むことが出来ませんから第6図に示す様な寸法の物の上にマジックハンドを下ろして、開閉ストッパー（ハ）（第5図に示す）をその上にのせて、リフト又はクレーンを充分に下げ、自然に止まるまで下げきって再び引き上げて下さい。そうすると ㊤ の状態になりますから、以下 ㊤ の説明によって操作して下さい。

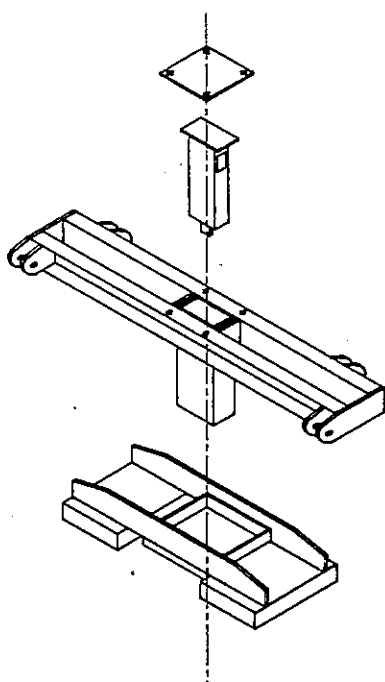
第6図



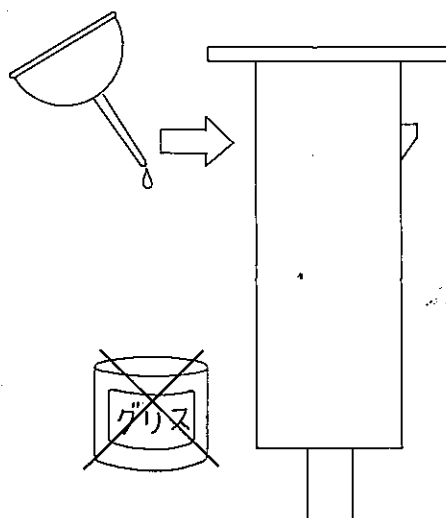
## 保守管理

- (1) 常に円滑な開閉作動状態を保つために、2～3ヶ月に一度程度開閉制御装置に注油して下さい。(第8図)  
ただし、グリスは却って開閉制御装置の作動を妨げることとなりますので、絶対使用しないで下さい。  
各ピンには適時注油して下さい。このとき挟持ゴムに油がかからぬようご注意下さい。
- (2) 挟持用ゴムは摩耗が進みましたら裏返して御使用できます。  
このゴムは部品として用意しておりますので、お早目にご注文下さい。

第7図 開閉制御函取出方法



第8図 注油



### 取扱い上の注意

開閉動作がスムーズに行われない場合

- (1) 開閉制御函(部品No.16000)を取り出し、軽油などで洗浄してからケースの外に(下側に)とびだしている棒を上げ下げし、カムが左右の窓に交互に移動することを確認して下さい。
- (2) もし動きの悪い場合は新しい物と交換して下さい。
- (3) 力を加えて(無理な力で)挟搬機を上下動作させると開閉制御函がこわれることがありますのでご注意下さい。

株式会社 富士フォーチュン

〒421-1215 静岡県葵区羽鳥7丁目6番37号

TEL 054-207-8811 FAX 054-207-8812

e-mail:ff@fujif.co.jp